

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部生涯学習文化課		■担当係	生涯学習係
■評価事業名称	多文化共生事業費補助金			
■事業開始年度				
■評価事業コード	090200 - 279		■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進		
	■施策	03 国際化に対応したまちづくりの推進		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	北上市の国際化のため、多言語表記や無料公衆無線LAN等の整備を行う民間事業所に対して補助金を交付するもの。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成28年度事業計画	平成28年度事業量実績
01 多文化共生事業費補助金	事業所	多文化共生に関する補助金の交付。	申請件数6件、交付額578,000円	

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
直接事業費				588	
人件費				826	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト				1,414	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

達成状況の分析		問題点・課題等
■目標達成状況	<p>6件の申請。5件分を想定していたので、件数的には達成しているが、限度額に満たない申請もあったため、予算残額が生じた。</p>	自治会等における国際理解の取り組みがさらに進むよう補助金の周知をさらに進める必要がある。
1. 直接的な受益者の範囲	<p>○ 不特定多数に及ぶ ● 特定されるが多数に及ぶ ○ 特定少数に限定される</p>	<p>○ 大きな不利益やリスクが生じる ● ある程度の不利益やリスクが生じる ○ 不利益やリスクは小さい</p>
2. 事業廃止の影響		3. 国・県・民間との競合関係の有無
4. 事業へのニーズの変化	<p>● ニーズが高まっている ○ ニーズは変わらない ○ ニーズが低下している又は合致しない</p>	<p>○ 順位が高い ○ 順位が中程度 ● 順位が低い</p>
5. 施策の改善需要度(市民意識調査)		6. 施策の優先度(市民意識調査)
7. 他市町村に比較しての優位性	<p>● 先進的またはユニークな事業である ○ 他と同程度の事業である ○ 遅れている事業である</p>	<p>○ 順位が高い ○ 順位が中程度 ● 順位が低い</p>
8. 実施主体の代替性	<p>● 民間委託等の拡充は難しい ○ 民間委託等の拡充が十分に可能 ○ 全部委託や実施主体の移行が可能</p>	9. 経済性・効率性の向上
■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)	<p>事業所の多言語対応等が少しずつでも進んでおり、今後自治会等が行う多文化理解等を進めようとしている。自治会等が取り組みを進めるきっかけとなるものであり、継続する必要がある。多くの市民の目に触れるよう周知について工夫する必要がある。</p>	
■今後の方向性		
<p>○ I. 拡充 ○ IV. 廃止・休止 ● II. 継続 ○ V. 完了 ○ III. 縮小</p>		